

**日本光学会平成 19 年度第 2 回常任幹事会議事録**

日 時： 2007 年 11 月 20 日(火) 13:30~17:50

場 所： 日本光学会光学資料室

参加者： 伊東幹事長，他 15 名

議 事：

1. 第 182 回幹事会議事録(案)の確認

- ・第 182 回幹事会議事録(案)は承認された。

2. 報告事項

2-1. 「光学」関連報告

(1) 「光学」編集報告

- ・出版費は平常通りで，紙代の値上がりの影響はまだないことが報告された。

2-2. 「OPTICAL REVIEW」関連報告

(1) 「OPTICAL REVIEW」編集報告

- ・掲載論文状況が報告された。投稿数が少ないため，幹事に投稿を後押しするよう要請があった。

(2) 「OPTICAL REVIEW」出版報告

- ・出版費用細目と OR 電子版のアクセス状況が示され，順調であることが報告された。
- ・アクセス数で上位 3 位となる論文のタイトルリストを Web ページに掲載できるか検討するよう要請があった。

2-3. 講演会関連報告

(1) 第 32 回光学シンポジウム収支報告

- ・収入が見込みより増えて，黒字となったことが報告された。収入増の要因のひとつとなった展示会の運営方法などを他の幹事へ紹介し，次期幹事へも引き継ぐようにとの意見が出された。

(2) Optics & Photonics Japan 2007 進捗報告

- ・ベストプレゼンテーション賞選考委員会の委員について案が提出され，承認された。予算案が提示された。
- ・OPJ の参加登録者数はやや少ないが，発表は例年より多い。また，展示会の出展件数は 24 件集まったとの報告があった。

(3) カラーフォーラム JAPAN 2007 進捗報告

- ・準備が順調に進んでいることが報告された。
- ・来年度は日本光学会が担当となるので，実行委員長を光学会から選出する必要があるとの報告があり，幹事会としては担当幹事に一任することが決まった。

(4) 第 3 回光応用新産業創出フォーラム進捗報告

- ・フォーラムの準備が順調であることが報告された。予稿集の原稿が揃い，出版作業に入ったことが報告された。

(5) 第 34 回冬期講習会進捗報告

- ・「デジタル一眼レフを支える技術」と題して開催することが決まり，申し込み受付を開始したことが報告された。

(6) 平成 19 年度北海道支部学術講演会進捗報告

- ・82 件の発表からなるプログラムが確定し，準備が順調であることが報告された。
- ・日本光学会については，「支部」ではなく「地区」に，可能な範囲で用語を統一するよう要請があった。

(7) 平成 19 年度名古屋講演会進捗報告

- ・講師と講演内容について決定し，準備が順調であることが報告された。
- ・3 名の講師に，質疑を含め 1 時間の講演を依頼しているとの報告があった。

(8) 第 33 回光学シンポジウム進捗報告

- ・実行委員が内定し，ホームページ公開も 11 月末までに予定しているなど，準備が順調であることが報告された。
- ・20 団体に協賛を依頼し，そのうちすでに 16 団体より承諾を得たとの報告がされた。
- ・500 人会員増計画の方針が提示された。

(9) 日韓交流シンポジウム進捗報告

- ・プログラムが確定し，準備が順調であることが報告された。会計予算(案)が報告された。
- ・このシンポジウムのような活動を通じて，日本光学会の国際化を進めていくべきとの意見が出された。

2-4. その他報告事項

(1) 協賛依頼について

- ・9 件の協賛依頼について承認された。
- ・日本光学会が協賛した 4 女子大学合同シンポジウムの報告書が届いたことが報告された。

(2) 会員動静について

- ・会員が 1 名増加したことが報告された。

(3) 収支計算書について

- ・平成 19 年 1 月 1 日から 10 月 31 日までの収支計算書が示された。
- ・12 月 20 日が収支の締切日であるため，幹事には早めの会計報告が要請された。特に OPJ やカラーフォーラム JAPAN など，年末にかけて開催する事業について要請があった。

#### (4) 光学論文賞進捗報告

- ・10月12日に募集を締め切り、応募数は14件(昨年11件)であったことが報告された。
- ・12月3日に委員会を開催する予定で、順調であることが報告された。

#### (5) 会員制度委員会報告

- ・評議委員会のあり方について議論があり、経験豊富な方々の意見を取り入れる場は必要であるとの意見が出された。幹事会が若年化しているとの指摘があり、年配の方に参加していただくなどの案が提案された。過去に歴代幹事をOPJ懇親会に招待した事例が紹介され、懇親会などを開催するとよいのではないかと意見が出された。
- ・フェロー制度については、改めて原案を作成して審議にかけることとなった。

#### (6) 日本光学会平成20年度予算報告

- ・応用物理学会の経理にて修正された平成20年度予算の1次修正案が提示された。
- ・単年度収支が国際会議引当金取崩収入などの効果で黒字予算であるとの報告があった。
- ・研究グループ補助金について減額をした案であるとの報告があった。繰越金が多い研究グループが多数あり、繰越金に応じた助成金の支払いなどを検討しているとの報告がなされた。
- ・赤字傾向が続いているため、幹事の方々に赤字とならないよう協力が要請された。また、会員を増やす努力と魅力ある活動が要望として出された。

#### (7) 日本光学会ロゴの変更について

- ・会員投票結果をもって、次回の幹事会で審議にかける案が提示された。
- ・来年の「光学」の表紙出版の期日が迫っているため、開票後すぐにメール審議を行うことが決定した。ロゴのメール審議は、幹事選挙とは別に行う。

#### (8) その他

##### 8-1. 魅力ある日本光学会

- ・HPのリンク組みなおしについて議論がなされた。魅力あるコンテンツの一例として、創立50周年記念の際に作成された光学用語集があり、利用しやすくリンクすることなどが提案された。

##### 8-2. 電子情報戦略について

- ・ネット上で日本光学会の存在を大きくするための活動が、幹事に対して要請された。一例としてWikipediaへ「日本光学会」の項目を入力するなどが挙げられた。
- ・入力の担当を電子化担当幹事とすることが決定した。

##### 8-3. ロシア光学会について

- ・ロシア光学会と協力関係を結ぶよう、前幹事長が働きかけているとの報告があった。韓国光学会との進め方と同様に結実することを望んでいる。将来的に業務は、国際協力担当幹事に引き渡される。

##### 8-4. 奨励賞副賞

- ・これまでJOEMが日本光学会の奨励賞副賞を提供していたが、今後は日本光学会で負担することが報告された。

#### 3. 審議事項

##### (1) Optics & Photonics Japan 2008 企画案

- ・開催場所について議論がなされた。企画案を作成したのち、次回以降審議することとなった。
- ・会計の都合上、開催時期を2週間ほど早めることが要請された。

##### (2) 入会のしおり改訂について

- ・メール審議にて、すでに依頼先は学術新報社に確定したことが報告された。
- ・学術新報社から提示されたしおり表紙デザイン案3案と内容の案が示された。
- ・再度検討の後、メール審議と第2次案作成を行い、1月の幹事会で最終審議を行うことが決定した。

##### (3) 日本光学会ホームページについて

- ・アクセス状況が示され、平常どおり2か月で20,000アクセスあることが報告された。
- ・シンポジウムスケジュール等をカレンダー形式に修正して掲載したことが報告された。
- ・広告掲載について審議され、掲載する方向に進めることが決定した。

##### (4) ブレインネットワーク推進のためのソーシャルネットワークサービスレンタルサーバー利用費について

- ・Grouptubeと1年以上の契約ならば利用費の領収書が発行されるとの報告があり、利用費支払いが承認された。

##### (5) 国際協力支援金規定・申請書について

- ・「国際会議開催支援金」と「欧文誌投稿料支援金」からなる支援金の内規案が提示された。共催の国際会議を支援対象とする。
- ・予算としては、投稿支援金と投稿料補助を一緒に扱うほうがよいのではないかと意見が出された。
- ・研究グループの共催については、ケーススタディをもとに文言を決めるよう要請された。

##### (6) 2008年情報フォトニクス国際会議について

- ・情報フォトニクス研究グループが主催する国際学会につ

いて報告があった。審議事項はなし。

(7) 第 42 回サマーセミナーについて

- 前回の幹事会でのアンケート結果について報告があった。時期やテーマは問題ないが、場所が遠いなどの意見が傾向として得られた。
- テーマの選び方について議論がなされた。開催方法、テーマ選択、人選、対象を誰に絞るかなど、案を作成し、次回の幹事会にて継続して議論することとなった。

(8) 日本光学会 news の会合案内およびカレンダー掲載基準について

- 「日本光学会 news」および「光学関連会合予定表」への掲載基準について案が提示された。審議の結果、協賛の項について修正を加え、承認された。
- 学会関連情報のカレンダー掲載について、広報とホームページの庶務幹事で連携することが要請された。

(9) その他

- SPIE との MOU が延長されたことが報告された。
- 今回の MOU 協定更新時の改定により、共催活動などの出版物を SPIE と OSJ の両団体が出版することが可能になった。また、団体の独立性を記す条項が追加された。

### 第 183 回幹事会

2008 年 1 月 30 日 (水) に、機械振興会館地下 3 階研修 2 号室において開催されました。幹事選挙結果報告、次期幹事長選挙、次期幹事役職審議がなされました。続いて、第 41 回サマーセミナー収支報告、平成 19 年度電気関係学会北陸支部連合大会収支報告、平成 19 年度関西講演会結果報告、第 41 回光学五学会関西支部連合講演会結果報告、Optics & Photonics Japan 2007 結果報告、Optics & Photonics Japan 2008 進捗報告、カラーフォーラム JAPAN 2007 結果報告、第 3 回光応用新産業創出フォーラム結果報告、第 34 回冬期講習会結果報告、平成 19 年度北海道地区学術講演会結果報告、平成 19 年度名古屋講演会結果報告、第 33 回光学シンポジウム進捗報告がなされました。また、協賛依頼、会員動静、収支計算書、平成 19 年度光学会総会日時、広報について、日本光学会新ロゴ、日本オプトメカトロニクス協会からの光学奨励賞提供の辞退について、光学論文賞結果、会員制度委員会、500 人会員増委員会、日韓交流シンポ開催、SPIE との MOU 継続、「光学」関連、「OPTICAL REVIEW」関連について報告がありました。さらに、平成 20 年度活動計画(案)、日本光学会ホームページ、第 42 回サマーセミナー、カラーフォーラム JAPAN 2008、電気関係学会北陸支部連合大会「優秀論文賞」の新設運用案、Wikipedia、国際協力

支援金規定、産学官連携、奨励金制度の提案、ロシア光学会との協定および SPIE からのイベント予告掲載依頼、レーザーディスプレイ研究グループについて審議がなされました。なお、詳しい幹事会議事録は第 37 巻第 5 号に掲載予定です。

### 第 237 回「光学」編集委員会

2008 年 1 月 18 日 (金) に、応用物理学学会会議室において開催されました。第 37 巻第 10、11 号および第 38 巻第 4 号の企画決定、第 37 巻第 12 号の第二次構想案、第 38 巻第 1~3 号の第一次構想案の審議、第 38 巻第 4、5 号の号担当の決定が行われました。その後、報告および審議事項を経て、論文投稿・審査状況についての報告、各号の進捗状況の報告、会計の報告、幹事会の報告がなされました。

### 平成 19 年度日本光学会総会

平成 19 年度総会を下記のとおり行いますので、会員の皆様はご出席くださるようお願いいたします。

日 時： 2008 年 3 月 28 日 (金) 13:00~13:45

場 所： 第 55 回応用物理学関係連合講演会会場

日本大学理工学部船橋キャンパス 14 号館 2F-1421 (C 会場) (船橋市習志野台 7-24-1)

### 平成 19 年度光学論文賞および選考委員会

平成 19 年度 (第 49 回) 光学論文賞は、高橋栄治氏 (理化学研究所) ならびに成瀬誠氏 (情報通信研究機構) が受賞されることとなりました。受賞対象論文は次のとおりです。

高橋栄治氏：

J. Takahashi, T. Kanai, K. L. Ishikawa, Y. Nabe-kawa and K. Midorikawa: "Dramatic enhancement of high-order harmonic generation," Phys. Rev. Lett., **99** (2007) 053904.

成瀬 誠氏：

M. Naruse, T. Inoue and H. Hori: "Analysis and synthesis of hierarchy in optical near-field interactions at the nanoscale based on angular spectrum," Jpn. J. Appl. Phys., **46**, No. 9A (2007) 6095-6103.

### 平成 20 年度幹事選挙結果報告

平成 20 年度の選挙の開票結果について報告いたします。

開票日： 2007 年 12 月 11 日 (火)

開票者： 伊東幹事長、岡本、津村

投票総数：158

有効票：154

幹事会推薦候補者得票数：150～153

幹事会推薦以外(記名)：0

白票：1

以上の結果をもって、平成20年度の幹事には幹事会推薦候補者25名が選出されました。

### 「日本光学会 news」および「光学関連会合予定」の掲載基準について

2007年11月20日の常任幹事会で、「日本光学会 news」および「光学関連会合予定」の掲載基準に関して下記の内容が決定しました。

「日本光学会 news」

1) 掲載記事は、日本光学会(研究グループ等を含む)および応用物理学会(支部・分科会・研究会等を含む)が主催・共催・協賛する会合、および連絡事項のみとします。

2) 各々に関しては、下記分量を目安に原稿を作成してください。

主催の会合：26文字×40行程度

共催の会合：26文字×20行程度

協賛の会合：26文字×10行程度

「光学関連会合予定」

掲載記事は、下記の記事に限ることとします。1)「日本光学会 news」に掲載された会合、2)日本光学会が主催・共催の会合、3)日本光学会が協賛または後援を決定した会合、4)政府機関主催の会合(日本学術会議、官公庁・付属研究所、学校・付属研究所)、5)応用物理学会講演会、6)日本光学会会員が国内窓口になっている国際会議、7)上記会合以外であるが、会員のメリットになると判断した会合。

### 第11回光設計賞募集要項

光設計研究グループでは、光設計分野における技術交流・研究活性化を目的として、下記の要領にて「第11回光設計賞」を実施いたします。光設計分野における研究・開発に携わっておられる皆様からの積極的なご応募をお待ち申し上げております。

#### 1. 趣旨・目的

- ・「光設計」に関する成果を公開する場を設けることにより、同分野の研究および技術の交流を活発に行う。
- ・「光設計」に関する優れた研究、技術、発明に授賞することにより、同分野の研究推進・活性化に寄与する。

#### 2. 応募要領

・技術領域「光設計」に関する研究や技術発明を対象とします。対象となる技術分野は、レンズ設計・光学設計をはじめ光学系の加工・測定・評価、光学設計ソフト等、光学系・光学素子等の設計に関連する分野、また適用分野としては、回折光学、光記録、軟X線光学、光コンピューティング、光集積回路、補償光学、非結像光学、光学薄膜等の光学分野も含まれます。

・応募資格：日本光学会の個人会員に限ります(グループで応募の場合は筆頭者)。非会員の方は応募と同時に入会手続きをしてください。応募は自薦のみとします。なお、受賞者で光設計研究グループ以外の方は、光設計研究グループに入会していただきます。この場合、受賞年度の年会費を免除いたします。

・募集の制約：公開済み/未公開は問いません。公開済みの場合には公開されてから5年以内を目安とします。公開形式と公開日が確認できる資料を必ず添付してください。応募件数の制限はありません。

・応募の書式：ホームページ(<http://www.opticsdesign.gr.jp/>)より指定の書式の応募用紙をダウンロードし、内容をご記入ください。応募用紙に記載された内容を元に審査を行います。

・添付資料：応募用紙記載の内容を確認するための資料です。応募用紙と合計でA4用紙20枚以内となるように、適宜縮小コピーやページの抜粋を行ってください。

・応募方法：E-mailでご応募願います。応募用紙をPDF形式ファイルまたはMicrosoft Word書式ファイルにてご準備ください。添付資料もメールに添付してご送付いただいて結構です。メールのサイズが大きくなる場合には、1メールあたり4MB未満になるように分割してください。なお、E-mailでのご送付が困難な場合に限り、郵送でも受け付けます。

・応募の宛先・問い合わせ先

〒571-8501 門真市大字門真1006番地

松下電器産業(株)パナソニックAVCネットワークス社

AVCデバイス開発センター 市橋宏基

電話 050-3587-3006 Fax 06-6900-9658

E-mail: [odp11@opticsdesign.gr.jp](mailto:odp11@opticsdesign.gr.jp)

・募集期間：2007年11月28日～2008年5月30日(必着)

#### 3. 審査項目

・「将来性」「実用性」「独創性」の3つの観点で審査します。

4. 表彰

- ・表彰の場：当研究グループの関係する会合にて発表・表彰を行う予定です。
- ・時期：2008年秋
- ・賞金：光設計大賞 7万円 (1件)  
光設計優秀賞 3万円 (若干数)

5. その他

- ・受賞者には光設計研究グループの研究会にて口頭発表をお願いする可能性があることをご承知ください。

**ICPEPA 2008: International Conference on Photo-Excited Processes and Applications**

期 日：2008年9月8日(月)～12日(金)

場 所：ロイトン札幌ホテル (札幌市中央区北1条西11-1)

主 催：ICPEPA 2008 実行委員会

共 催：北海道大学理学研究院

協 賛：日本光学会

論文締切：2008年4月11日(金)

問合せ先：北海道大学大学院理学研究院化学部門  
坪井泰之

E-mail: twoboys3222@mail.sci.hokudai.ac.jp または  
twoboys@sci.hokudai.ac.jp

<http://icpepa6.com/>

ご逝去

ご逝去の訃音に接し、ここに謹んで哀悼の意を表します。

会員番号	会員名	所属 (旧所属を含む)	役員履歴	死亡年月日
0002589	小嶋 忠	コニカミノルタオプト (株)	応用物理学 会評議員, 日本光学会 常任幹事, 同編集委員	2007/12/30

新入会員

個人

会 員 番 号	氏 名	所 属
A 6103713	森山 健二	(株)共和電業
6103706	石原 弘久	アルプス電気(株)
6103703	江崎 豊	三菱電機(株)
6103704	小関 泰之	大阪大学
6103705	壺岐 俊彦	東洋インキ製造(株)
学 6103712	三浦 賢一	筑波大学
6103714	上野 直樹	(株)オプトロニクス社
学 6103715	丹羽慎太郎	大阪大学
6103716	平野 勝也	(株)トキナー
6103717	毛利 文仁	(株)カネカ
B 0024254	大橋 勝樹	(株)東芝
0051695	星野 鉄哉	筑波大学
0073470	大村 誠	フジノン(株)
0073540	河内 治之	(株)チノー
0073543	岩橋 賢知	(有)オプトニカ
学 0073758	ジャヤラマン ラマジョデ	愛知工業大学
学 0073731	大淵 武史	筑波大学
学 0074273	笹本 益民	岩手大学

日本光学会 *news* の掲載申込み先：

〒220-0073 横浜市西区岡野 2-4-3 古河電気工業(株) 横浜研究所 解析技術センター

麻生 修

電話 045-311-1212 Fax 045-314-5190 E-mail: aso@ch.furukawa.co.jp

なお、掲載申込みは原則として発行日(10日)から2か月前の15日まで、開催日が1~10日の場合は、開催日の3か月前の15日までをお願いします。

#### 日本光学会平成19年度幹事(\*常任幹事)

幹事長：	伊東 一良* (大阪大)	
副幹事長：	笹木 敬司* (北海道大)	渡辺 正信* (産総研)
前幹事長：	黒田 和男 (東京大)	
庶務幹事：	岡本 隆之* (理化学研)	津村 徳道* (千葉大)
	田中 哲* (防衛大)	石橋 爾子* (ネオアーク)
	菅谷 綾子* (ニコン)	生駒 晋也* (トプコン)
	竹内 誠二* (キャノン)	麻生 修* (古河電工)
	芦原 聡* (東京農工大)	
『光学』編集幹事：	伊藤 雅英* (筑波大)	小野寺理文 (能開大)
『OPTICAL REVIEW』編集・出版幹事：	植田 憲一* (電通大)	石井 行弘* (東京理科大)
国際協力幹事：	各務 学 (豊田中央研)	中川 清 (香川大)
産学協力幹事：	藤井 秀雄 (ペンタックス)	石樽 崇明 (慶應義塾大)
将来問題担当幹事：	清水 賀代 (日本女子大)	谷川ゆかり (産総研)
電子化担当幹事：	伊藤 達男 (松下電器)	森野 剛志 (東芝)
事業・企画担当幹事：	佐藤 康郊 (富士ゼロックス)	岡田 訓明 (シャープ)
	板橋 彰久 (リコー)	白石 武嗣 (コニカミノルタオプト)
	武山 哲英 (オリンパス)	西畑 純弘 (富士フィルム)
	忠永 修** (NTT)	吉川 宣一 (埼玉大)
	佐藤 雅之 (北九州市立大)	二瓶 裕之 (北海道医療大)
	佐藤 俊一 (東北大)	田代 発造 (富山大)
	鈴木 孝昌 (新潟大)	杉田 篤史 (静岡大)
	和田 健司 (大阪府立大)	松尾 繁樹 (徳島大)
	入江 正浩 (九州大)	

\*\* 幹事代理